

# 兵庫県のに漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 5号)

神戸地先・神戸沖東部海域では、小型珪藻のレプトシリンダラスが大量発生しています。窒素は、明石海峡部で  $2 \mu\text{g-at/L}$  前後、神戸地先では陸水等の影響が見られる地点を除き概ね  $1 \mu\text{g-at/L}$  以下、神戸沖で  $1 \mu\text{g-at/L}$  台前後、東浦地先で  $1 \mu\text{g-at/L}$  台の値となっています。

(水温) 神戸地先は平均  $12.7^\circ\text{C}$ 、神戸沖は平均  $12.4^\circ\text{C}$ 、東浦地先は平均  $12.0^\circ\text{C}$ 。

(塩分) 神戸地先:  $30.77 \sim 32.21\text{psu}$ 、神戸沖:  $31.93 \sim 32.35\text{psu}$ 、東浦地先:  $32.63 \sim 32.68\text{psu}$ 。

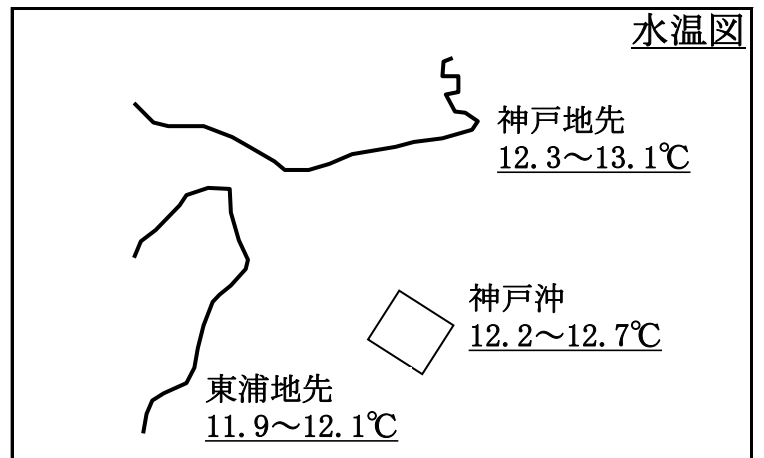
(栄養塩、珪藻) 神戸地先・神戸沖東部では、小型珪藻のレプトシリンダラスが、海水  $1\text{mL}$  あたり  $1000 \sim 5000$  細胞と非常に多く確認された。その他の海域では、レプトシリンダラス、キートセロス等は確認されるが発生量は少ない。満潮での調査ということもあり、神戸地先・神戸沖東部では、湾奥部の栄養塩が少なく珪藻が多い海水が波及していると思われる。

-10m層では、海域全般に、スケルトネマ、キートセロスがわずかに確認されており、窒素の値は  $1 \mu\text{g-at/L}$  台後半であった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	9.7	<b>12.7</b>	11.0	11.8
	窒素	0.8	<b>1.0</b>	3.3	2.0
	リン	0.17	<b>0.13</b>	0.21	0.08
神戸沖	水温	10.2	<b>12.4</b>	10.8	11.1
	窒素	2.4	<b>1.0</b>	2.2	1.9
	リン	0.38	<b>0.17</b>	0.19	0.19
東浦地先	水温	10.1	<b>12.0</b>	10.9	11.2
	窒素	1.5	<b>1.5</b>	1.9	1.1
	リン	0.28	<b>0.22</b>	0.20	0.17

(2/24)

(3/17)



## 栄養塩 (窒素) 図

2023年 3月24日調査

満潮～下げ始め (明石海峡：西流)

調査時間； 8:04～10:09

